

事業名 : たかやなぎ食育フェスタ

団体名 : 高柳地区自治協議会

1 事業内容

日時 6月9日(日) 午前10時～午後3時

場所 高柳小学校

内容 食育月間(6月)に合わせて、高柳の地場産を主に食に対する理解、関心を深めていただくため展示、試食、体験、健康チェック、販売、ステージイベント、食育クイズラリー等を取り入れながら各団体、企業に協力いただき、参加者にとって楽しんで参加いただけるイベントとして実施した。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
5月30日	地域づくり部会	高柳ふれあい倶楽部	17名
6月8日	会場準備	高柳小学校、駐車場	約40名
6月9日	イベント当日	高柳小学校	約1,200名
6月19日	反省会	高柳ふれあい倶楽部	20名

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

所管した「地域づくり部」の周到的準備により盛大に催すことが出来た。多方面の来場者からいただいた声は「単位自治協が催すレベルのイベント規模を大きく超えている」、「元気がある地域だと改めて感じた」と高評価であった。自主運営をしている自治組織として、取り組む事業の方向性がオーソライズ（広く承認）された証しとして今後の事業展開への自信となった。

(2) 地域への波及

県警音楽隊ドリル演奏を一目見たさに来場した大人たち、地元出身のWhoAreYouの初の地元ステージに地元同級生や住民が駆けつけて拍手を送っていた。食育ブースのテントでは、児童たちが自分たちで考えてジュースの仕入れから単価設定、接客、販売までの一連をこなし、その立ち振る舞いから伺える成長振りに地元住民から称賛を浴びていた。このような食育体験の延長に健康な食生活があり、ふるさと意識が育まれることを改めて認識することができた。

3 協働の相手方

- ・養父市 : 事業の企画・運営に参加
- ・養父市社会福祉協議会 : お互いのイベントを連携

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

活動を継続していく財源を確保する必要がある。食育イベントは、農業特区参入企業によるブース展開を促しての食育体験などを検討していきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

世代を超えた地域のつながりは、あらゆる場面で大きな力を発揮することから、ソウルフードとして地域に伝わる郷土料理、特産品などにスポットをあてていきたい。(八鹿浅黄大豆、蛇紋岩米、朝倉さんしょ、富有柿、八木太郎鮎など)



6年6月9日 高柳小学校の食育活動パネル展示



6年6月9日 童和こども園児達が収穫した野菜販売



6年6月9日 但馬農業高校生徒達が作った野菜販売



6年6月9日 カゴメ株によるベジチェック測定